

省エネルギー住宅

ヤマト住建(神戸市中央区、西津昌廣社長、078・



断熱性能追求で大賞受賞

ヤマト住建

230・0600)の省エネルギー住宅「エネーシュUW」写真」が日本地域開発センターが主催する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2014」で大賞を受賞

ファイル
いい話

した。エネーシュUWは壁と屋根に外張り断熱と充填断熱、床下は基礎断熱、窓はトリプルガラスの樹脂サッシを採用し、断熱にこだわった。断熱性能を示す外皮平均熱貫

流率(UA値)0.27と北海道などでの省エネ基準を上回る断熱性能や普及への取り組みが評価された。

今回で5回連続入賞だが、大賞は初めてのため、同社では3月から1カ月間、契約した住宅のうち、36棟を無料でエネーシュUWの断熱仕様にする受賞記念キャンペーンを展開中だ。「大昔からの日本の家に対する基準を夏から冬に変えてもらい、受賞を機に断熱による省エネ住宅をさらに普及していきたい」(中川泰専務)と意気込む。